

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	社会教育課長 岡本 範子				
		主管課(関係課)【2】	社会教育課				
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】				
創2-1 生涯学習環境の充実		多様な学びと文化・スポーツが息づくために	創造性の育つまちづくり				
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】			
	だれもがいきいきと生活していけるよう、主体的に学び続けていける生涯学習の機会の充実が求められています。 本市では、公民館や図書館、文化施設やスポーツ施設、学校施設などを活用し、生涯学習の場として提供するとともに、教育・文化事業やスポーツイベントの実施、市民文化祭の開催など、さまざまな事業を展開してきました。 現在、地域の諸課題も複雑化する中で、社会に出た後も、新たな知識・技術や技能を習得できる「学び続けられる」環境の充実が求められています。また、地域でのネットワークを構築し、学んだことの成果を社会貢献や地域の課題解決に還元し、地域社会に活用していくことが課題となっています。		◆生涯学習に関する情報発信の充実 ◆地域内ネットワークによる生涯学習の推進 ◆市民の自主運営による生涯学習などの支援	市民一人ひとりが生涯にわたって、いつでも、どこでも自由に学ぶことができるまちづくりを進めます。			
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】						
◇教育基本法には、「生涯学習の理念」が位置付けられ、生涯にわたり、あらゆる機会・場所において学習することができ、その成果を生かすことができる社会の実現が図られなければならないと規定されています。 ◇社会教育法には、「地域住民の学習成果を活用した教育活動の提供」が市町村教育委員会の事務として規定されています。 ◇平成27～28年度に、中央教育審議会の答申により、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」及び「個人の能力と可能性を开花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について」の方向性が示されました。							
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】				
	1	生涯学習活動を促進するしくみづくりやネットワークの形成を進めます	生涯学習活動を促進するしくみづくりやネットワークの形成				

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「生涯学習環境の充実」に対する満足度							
		算出式・説明	市民が生涯にわたり、主体的に学び続け、充実した日々をおくることができるように、市が行っている「生涯学習環境の充実」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。							
		目標値	30%					単位	%	
		実績値	24.6	24.6	24.6	20.6	20.6	26		
		達成率	82%	82%	82%	69%	69%	87%		
	指標2	名称								
		算出式・説明								
		目標値						単位		
		実績値								
		達成率								
	指標3	名称								
		算出式・説明								
		目標値						単位		
		実績値								
		達成率								
	指標4	名称								
算出式・説明										
目標値							単位			
	実績値									
	達成率									
達成率の平均値			82%	82%	82%	69%	69%	87%		

【市民意見】【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	24.6%	満足度(%)	20.6%	満足度(%)	26%
満足度(平均ポイント)	0.03	満足度(平均ポイント)	0.06	満足度(平均ポイント)	0.07
重要度(%)	65.9%	重要度(%)	66.5%	重要度(%)	69.1%
重要度(平均ポイント)	0.84	重要度(平均ポイント)	0.88	重要度(平均ポイント)	0.98

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇生涯学習については、「西東京市教育計画(平成26年3月)」に基づき、多様な学びを支える生涯学習の振興を図るとともに、いつでも・どこでも・だれでも学べる環境の整備の取組を進めています。また、生涯学習の方向性を示す「西東京市生涯学習推進指針」を策定し、生涯学習事業を実施しています。 ◇本市においても高齢化が一段と進むことが予想されており、生きがいや健康維持に資する長寿高齢社会を見据えた生涯学習を進めることが求められています。このような状況を対して、学び直しや社会的な課題に対応した講座の開講など、主体的に参加できる環境や学習機会の充実が図られつつあります。 ◇一方、学習活動の発表や交流の場の充実など学習成果を活かした社会参加への機会や地域が抱える諸課題に関心を高める学習の支援など、学習の成果を地域での活動にいかすことは、変化やニーズに比して十分とはいえません。 ◇また、次世代を担う子供たちが新たな時代を切り拓く知恵や心を育てる取組も重要であり、そのためには学校、家庭、地域等が連携・協力し、学校教育外での生涯学習活動を進める必要があります。 ◇このような状況を踏まえ、個々のライフステージに沿った適切な生涯学習の情報提供が求められます。				
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度	<input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇各部署が、「西東京市生涯学習推進指針」を基に、理念を共有する中で、市民の満足度を高めるため、それぞれのライフステージに合わせて自分に合った学習や活動に出会えるよう、年間を通した生涯学習事業の提示や多様な事業主体との連携・協働など、市民の多様な学習ニーズに応える学習支援体制づくりを検討しています。 ◇また、「西東京市教育計画(平成26年3月)」策定のために実施したアンケート及び「平成29年度第1回市政モニター調査」では、生涯学習に関する情報提供への要望が高いという傾向があります。そのため、情報を必要としている人に、紙媒体やホームページなどの電子媒体、相談窓口など、様々な形態での情報の整備、適した方法での提供に引き続き取り組みます。 ◇平成28年度は「西東京の教育」を、平成29年度は「図書館だより」をカラー化し、わかりやすい情報提供に努めています。また、「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(第6期)策定のための基礎調査報告書」ではホームページを活用している方の多いことが示されており、webを活用した情報提供を検討し、学習活動の活発化を目指します。				
総合評価	施策内容の方向性【20】	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み	
		施策実施方針【22】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化	
		V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域			
説明【23】						
【一次評価後の事情変更等】						
総合評価	施策内容の方向性【20】	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み	
		施策実施方針【22】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化	
	判断理由等【24】	生涯学習環境の充実については、教育計画に基づき、ライフステージにあった提供手段・方法を意識し、情報提供に重点を置いて取り組んでいます。 市民意識調査結果では、前回調査と比べ満足度・重要度ともに大きな変化は見られません。 市政モニター調査では、生涯学習に関する情報提供への要望が高い傾向が見られることから、「生涯学習推進指針」の教育計画に合わせた検証や、多様な学習ニーズに対応できる「西東京市生涯学習人材情報」の発信・提供方法や体制づくりに取り組むべきと判断しました。				
	施策実施方針【22】	V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

創2-1 生涯学習環境の充実

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	生涯学習情報の整備・活用	社会教育課	市民一人ひとりが生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学ぶことができる生涯学習環境の充実を図るために、歴史、文化、芸術、人材などの地域にある資源を活用しつつ、市民の学習ニーズに応えるための事業の実施、学習や活動の場の提供に取り組んでいます。講座や活動内容の紹介など、生涯学習に関する情報を整備・活用することにより、市民の自主的な生涯学習活動を支援します。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業 の評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
0	0	0		公民館や図書館等において、市民の多様な学習ニーズに対応した学習機会や学習支援について、効果的に情報提供することによって、生涯学習社会の充実を図っていきます。また、地域住民が学んだ学習成果を活用できるよう、生涯学習情報を活用した地域生涯学習事業などを通じて、地域において、児童・生徒の成長を支える地域の教育力の向上を図ります。	—
0	0	0			